

## 第 77 回担当理事会議事要録

日 時 2017 年 9 月 24 日（日） 13：30～16：00

場 所 一般財団法人 ゆうちよ財団会議室  
〒101-0061 東京都千代田区三崎町 3-7-4

出席者 会 長 米山 高生  
副会長 大藪 千穂  
宮村健一郎  
総務担当理事 小笠原浩一  
同 押谷 一  
同 鎌田 繁則  
同 駒村 康平  
同 所 道彦  
同 西垣 鳴人  
財務担当理事 柳原 光芳  
同 松本 直樹  
渉外担当理事 藤野 次雄

事務局 芹沢 佐知子

(12 名)

### 【審議事項】

- (第 1 号議案) 各種委員会における活動状況等について
- ・ 企画委員会
  - ・ 学会賞等選考委員会
  - ・ 学術交流委員会
  - ・ ホームページ委員会
  - ・ 編集委員会
- (第 2 号議案) 生活経済学会新入会員の承認について

### 【報告事項】

- 1 第 34 回研究大会開催について
- 2 2017 年度部会開催の日程等について
- 3 「名誉会員」の推薦について
- 4 退会について
- 5 「部会会計報告書」の作成要領について
- 6 その他

## 【審議事項】

### (第1号議案) 各種委員会における活動状況等について

生活経済学会各種委員会における活動状況等について各委員長から説明があった。

また、今年度活性化予算により学会ホームページをリニューアルすることについて承認された。

#### ・企画委員会

大藪委員長から、2017年3月に発行した学会編著について報告があった。

また、次期企画案について説明があり、新たな編纂プロジェクトチーム (PT) を立ち上げるについて報告した。

#### ・学会賞等選考委員会

宮村委員長より、2017年度の学会賞等の応募については9月30日が期限であることについて報告があった。

また、6月の研究大会時に開催された委員会にて、「学会賞の応募者を増やすことにより学会の活性化を目指す」ことについて検討したことを報告した。

#### ・学術交流委員会

学術交流委員長欠席のため、米山会長から「生活科学系コンソーシアム」における活動について報告があった。

また、学術交流委員会の藤野委員が、継続実施している「生活経済教育」を軸とした学術交流活動について報告した。

#### ・ホームページ委員会

藤野委員長から、6月の研究大会時に開催された委員会にて、「学会HPの維持管理充実」について検討したことを報告があった。

また、現在の学会HPを出発点とした「学会HPリニューアル」を2017年度の活性化予算で行うことについて審議し、承認された。

#### ・編集委員会

小笠原委員長から、6月の総会時に報告した学会誌投稿論文にかかる査読審査方法の改訂については、9月末発行の第46巻から適用することを報告があった。

### (第2号議案) 新入会員の申込み審査について

新入会員 (2名・正会員・学生会員各1名) から入会申し込みがあり、審議の後、承認された。

なお、今回提出書類の一部が間に合わなかった6名については、次回担当理事会において審議対象とすることとした。

## 【報告事項】

### 1 第34回研究大会開催について

第34回研究大会開催について、実行委員会の大藪委員長、プログラム委員会の柳原委員長から報告があった。

第34回研究大会は岐阜大学を会場とし、2018年6月9日・10日に開催する。

総会、自由論題、特別セッションを行う他、共通論題のテーマは「人口減少社会

における暮らしと経済」として4名のパネリストを予定している。

なお、会員懇親会は長良川温泉の「鶴匠の家 すぎ山」で行うこととし、事前予約のみとして、当日の受付は行わない。会費は一律「8,300円」とし、賛助会員については、1名のみ無料招待とする。また、名誉会員についても会員と同額の料金を徴収することとする。

## 2 2017年度部会開催の日程等について

各部部长から、2017年度開催する部会について報告があった。各部会においては、プログラム確定後すみやかに事務局に情報提供し、学会HPに掲載することとする。

少人数の部会では報告者が固定化する傾向にあるとの報告もあり、米山会長から報告者募集の周知を行うとともに、他部会での報告も推奨してほしいとの依頼があった。

また、米山会長より、学会活性化にかかる施策として、次のものがあるので部部长に周知したい旨が述べられた。その施策とは、部部长に部会大会で優れた報告があった場合には、報告者に対して『生活経済研究』に投稿するように勧奨し、報告者が投稿を決めた場合には、その者を編集委員会に対して推薦し、査読者候補一名を推挙することができる」ということである

## 3 「名誉会員」の推薦について

米山会長から、2017年度名誉会員の資格要件を満たす会員6名について報告があった。当該会員が所属する部部长においては、部会にて検討の上、推薦する場合は推薦書を提出するよう部部长に依頼した。

## 4 退会について

第76回担当理事会以後に、「2016年度限りで退会」との申し出のあった会員（正会員1名、学生会員1名）について報告があった。

## 5 「部会会計報告書」の作成要領について

2017年度部会会計報告書の作成について事務局から報告があった。

特記事項としては、以下のとおり。

- ・会計報告書は部部长の他会計監査担当者と2名で確認後、署名・捺印の上事務局に提出すること。
- ・懇親会補助費については、原則として会員を対象とする。講師謝金の代替とした懇親会ご招待等は問題ないが、非会員の場合は出来るだけ入会を勧奨してほしい。
- ・会計報告書とともに、「部会・懇親会参加者リスト」を提出すること。

## 6 その他

### 「学会誌の媒体」について

担当理事会に先立ち開催された「企画委員会」において、「紙媒体での学会誌発行廃止の可能性」について意見が出された。「経費削減」に向けた具体的な取り組みとして、

会計監査時に監事からの意見として出されていたが、検討する機会がこれまでなかった。他学会や大学においても、学会誌や紀要を「電子媒体のみ」としているケースは増えていることを確認した。

「学会誌」は学会の柱であることから、委員会や担当理事会レベルで検討するのではなく、学会全体としてじっくり議論すべき課題である。このため、各部会や部会運営委員会において意見を聴取し、今後の検討課題とすることとした。